

公開シンポジウム

「新たな歯科医療制度を考える」の開催について

1. 主 催：日本学術会議 歯学委員会 歯科医療制度に関する検討分科会
2. 後 援：日本医歯薬アカデミー
3. 日 時：平成 22 年 12 月 17 日（金）13:00-16:30
4. 場 所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）

5. 開催趣旨：

我が国は近年、若年者層におけるう蝕の著しい減少がみられる一方、超高齢社会を迎え、要介護者や寝たきり老人、重度の全身疾患を有する患者の増加等、歯科医療を求める患者層および疾病構造が大きく変化しつつあり、また今後も大きく変化することが予想される。こうした歯科医療に対する社会のニーズの著しい変化に対応するためには、今後歯科医療は大きく変わることが求められている。また近年の歯科医療の発展に伴い、新しい治療法、治療用材料・機器が開発され、歯科医療は年々多様化、高度化している。今後、これらの多様化、高度化した治療を国民に効率的に供給する体制を構築するかについても検討する必要がある。今回、本シンポジウムにおいて、こうした社会の歯科医療に対するニーズの変化、疾病構造の変化を明らかにし、新しい歯科医療制度について検討する。

6. シンポジウム次第

○主催者側挨拶 渡邊誠（日本学術会議第二部会員、同歯学委員会委員長、東北福祉大学総合福祉学部教授・感性福祉研究所副所長）

○趣旨と進行の説明

座長： 戸塚靖則（日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院教授）
古谷野潔（日本学術会議連携会員、九州大学大学院教授）

○講演

1. 歯科保健医療の動向と今後の方向性等について
日高勝美（九州歯科大学教授）

2. 医療経済学から見た歯科界の現状と課題
川渕孝一（東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授）

3. 歯科医療：医療との共通点と特異性
岡野友宏（日本学術会議連携会員、昭和大学教授）
4. 超高齢社会における歯科疾病構造の変化と求められる歯科医療
渡邊達夫（日本学術会議連携会員、朝日医療専門学校岡山校校長、元岡山大学歯学部長）
5. 病院歯科における歯科医療の展開と問題点
阪口英夫（医療法人尚寿会大生病院歯科口腔外科部長）
6. 今後の歯科医療において求められる専門医制度
古谷野潔（日本学術会議連携会員、九州大学大学院教授）

○質疑と討論

○閉会の挨拶 戸塚靖則（日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院教授）

お申込み不要、参加費無料

お問い合わせ先

九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座内

電話：092-642-6376

FAX：092-642-6380

e-mail: ebata@dent.kyushu-u.ac.jp